

青少年委員だより

どんな子どもや家庭も地域で包摂^{ほうせつ}

第153号



令和元年8月31日(土)～9月1日(日)「学校に泊まろう」(旧中川河川敷)



地域全体で支える家庭と子ども
江戸川区健全育成課

課長 上坂 かおり

今年の4月より健全育成課長となりました。どうぞよろしくお願ひします。

前の部署では、区の子どもの貧困問題等に対応する施策としての「成長支援事業」に携わっていました。学習支援事業や食の支援事業、地域の子ども食堂等の関わりの中で、多くの生きづらさを抱えた子や保護者、家庭等と出会ってきました。これらの支援の中で見えてきた彼女らの共通する課題は、地域や社会からの「孤立」でした。人は人とのつながりの中で多くの経験をし、助け合い、そして喜びを感じます。孤立した家庭はすべての問題を家庭の中で抱え、負のスパイラルに陥り、そこに育つ子どもが一番の犠牲を背負います。しかしながら、人とのつながりや地域とのつながりを得ることで、子どもも保護者もそして家庭全体も大きく変わります。「孤立感」の解消が家庭全体を良いスパイラルに向かわせる力をもっていることを現場で実感しました。

健全育成事業の良さは、あらゆる環境や境遇にいるすべての子どもを公平に受け入れられるところにあります。地域の多くの子が活動に参加してくれることで、子どもや家庭の孤立を防ぎ、地域全体で子どもを育てていこうという風土ができます。「人とのつながり」や「ロールモデル」となる大人との出会いは、「孤立感」を取り除く解決策の一つです。日頃、青少年委員の皆さんを中心とした地域での活動の多くは、この「孤立感」を解消し、地域とのつながりや多くの大人との出会いを提供している大切な活動であります。

個々の家庭の背景に寄り添い、どんな子どもも家庭も地域全体で包摂する、そんな地域づくりのために、青少年委員の皆様と全力で頑張っていきたいと思ひますので、どうぞよろしくお願ひします。

夏はついに満載！

「学校に泊まるっ」

小松川平井地区委員会主催の「学校に泊まるっ」が、令和元年8月31日(土)～9月1日(日)に、小松川第二中学校の平井校舎をメイン会場として行われました。

今年のテーマは「平井密着・欲張りな夏」ということで、夏らしい企画となりました。ドラゴンボート乗船に始まり、銭湯体験、野外炊飯、車いすバスケットボール、ポッチャを楽しみ、就寝は教室での段ボールハウス体験でした。2日目はハゼ釣り、わくわくレクリエーション研究グループによるゲーム、流しそうめんと、二泊二日とは思えない盛りだくさんの内容でした。

今年で6年目を迎えた「学校に泊まるっ」は毎年、青少年委員が企画・立案し、地区委員会での承認を受けて開催しています。実地踏査、実行委員の募集、保護者



説明会、中学生ボランティアへの説明、参加者の班決めなど、開催にあたってのあらゆる運営に青少年委員が携わっています。

毎年、子どもたちが楽しんでる姿を見るたびに、こうして企画を実現できることに感謝しています。大変なこともありますが、これからも私たち小松川地区部会のメインイベントである「学校に泊まるっ」をすばらしいものにしていきたいです。

(文責・小松川地区・笠松志保)

「江戸川区花火大会」に従事して

令和初となる「第44回江戸川区花火大会」が、8月3日(土)に江戸川河川敷で開催されました。午後7時15分、斉藤猛区長の発声で約1万4千発の花火の打ち上げが始まりました。今年は大仁親王妃信子様のご臨席も賜り、例年をしのぐ盛り上がりとなりました。

0200オリンピック・パラリンピックの気運醸成を図るため、令和2年5月23日(土)に行われる予定です。どのような大会になるか、今から楽しみです。

(文責・鹿骨地区・渡邊浩太郎)

青少年委員は篠崎街道で観客の誘導を担当していましたが、大きな歓声が上がると、つい振り返って夜空を彩る鮮やかな花火に見とれてしまうこともありません。わがまちの花火大会のお手伝いができて、誇りに思いました。人出が多くてなかなか会場に入れず、沿道で歩きながら見ていた方には、来年はぜひ会場内でゆっくり観覧していただきたいです。

来年の花火大会は、東京2



命の大切さを学ぶ 「中学生と赤ちゃんのふれあい体験」

最後に、中学生が家庭科の授業で作ったタオルの犬のぬいぐるみをプレゼント。とてもかわいくできていて、赤ちゃん

を願います。このイベントに参加すると、毎回たくさんの感動をもらいます。そして、中学生が今回の体験を自分たちのこれから

の人生に活かしてくれることを願います。中学生は、事前に赤ちゃんのオムツ替えや抱っこ

の練習してから、実際に赤ちゃん

とふれあ



もお母さんも大喜びでした。このふれあい体験がこれからも続いてほしいと思います。

(文責 東部地区・萩原佐智子)

「城東ブロック研修大会」

城東ブロック青少年委員連絡協議会の令和元年度研修大会が、9月21日(土)、墨田区の曳舟文化センターで開催されました。今回の研修テーマは「青少年リーダー育成事業体験」体験を通じた楽しさからの学びです。第一部として、墨田区教育委員会事務局社会教育主事の須藤昌俊氏による講演「墨田区の青少年リーダー育成事業について」が行われ、映像を使いながら、青少年育成の具体的な取り組みが紹介されました。

第二部では、墨田区でジュニアリーダー養成に携わる若手の代表者などが講師となり、

三つの分科会に分かれて研修が行われました。レクリエーションゲームなど、青少年リーダー育成プログラムの実践的手法を体験できる、貴重な機会となりました。

研修終了後、墨田区の山本亨区長も参加して行われた懇親会では、グループ対抗でゲームを楽しみ、参加者全員が大いに懇親を深めました。

米田佳代子会長をはじめとする墨田区青少年委員の準備のおかげで、皆が笑顔で散会となり、ラグビーワールドカップ日本代表カラーにラ

イトアップされた東京スカイツリーを間近に見ながら帰途に就きました。

(文責 葛西北地区・佐藤晃嘉)



中学生の地域参加研究グループ

中学生に地域の未来を託して

中学生の地域参加研究グループは、6人のメンバーで活動しています。前期までは、8期にわたり開催していた中学生による夏まつりイベント「ふれあいドンドコパーク」の企画運営をしていました。今期は、地域活動に参加する中学生がより良い活動を行えるよう、大人がリードしていく手法の研究を活動内容としました。

1年目は、各地域で行われるイベントでの中学生の活動に着目し、共育プラザ一之江の「春フェス」、西小岩地区の「区民運動会」、共育プラザ合同で行う「10代の挑戦」などに足を運びました。参加した中学生からは活動についての感想を、主催者の大人には中学生に対して思うことを聞きました。

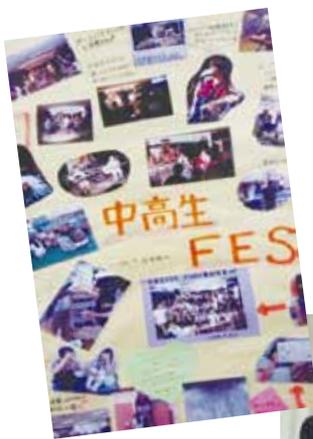
さまざまなイベント会場で中学生の様子を見ていると、まだ1人での活動は苦手なようです。2人ないし3人で一緒に指示を受け、その後各々で進めていく姿が多く見られました。また、苦手なのか嫌いなのか、活動開始当初は参加せず、やきもきさせられる子でも、別の活動に移ると目を見張るような行動を取るようになり、驚かされる

こともありました。年齢的にまだまだ行動の波が大きいのも、中学生の特徴なのでしょう。

2年目は「自転車盗ゼロ作戦」、共育プラザ南小岩の「共南祭」、共育プラザ小岩の「夏まつり」などで活動している中学生に対し、地域活動についてのアンケートを行いました。彼らの率直な感想や意見によって、初めて気付かされるが多々ありました。

これからの地域を担っていくであろう中学生。そんな彼らの可能性を引き出し、リードしていけるような研究を続けていきます。

(リーダー)大和田静枝 文責:大和徹雄



共育プラザ一之江・春フェスで中高生が作った展示



10代の挑戦



共育プラザ葛西・夏まつり実行委員会の様子



未来を担う人づくり研究グループ

子どもたちの安全で安心な居場所として、江戸川区には「すくすくスクール」と「なごみの家」という特徴的な事業があります。私たちの研究グループは、これらを研究材料として今年より発足しました。各小学校のすくすくスクールのイベントなどに参加・協力するほか、区内9か所すべてのなごみの家を訪問することを目標とし、力を入れています。

なごみの家は地域での交流やネットワークづくりなどを目的とした施設で、それぞれの施設が特色のある運営をしています。中でも特徴的なのが「なごみの家葛西南部」で、学校法人に運営を委託しており、平日は授業の一環として、学生が地域のお年寄りや子どもたちとの交流のサポートをしています。また、「なごみの家北小岩」の場合は、地域の利用者が催し物などの企画・運営を行い、施設側はサポートのみを行うということでした。

なごみの家でのルールは「笑顔であいさつ」だけ。子どもたちはここを待ち合わせ場所にしたり、カードゲームや将棋で遊ぶなど、上手に利用しているようでした。

私たちが研究グループで訪問する際



青少年委員活動の大きな特徴に研究グループ活動があります。2年（1期）ごとに青少年委員が研究したい分野を考え、グループで活動を行っています。今期は6グループが活動しており、研究で習得した技術や能力を、地域での活動で実践しています。

は、アフリカなどで古くから親しまれているゲーム「マンカラ」を持ち込み、子どもたちやお年寄りと一緒に楽しい時間を過ごします。すくすくスクールではおなじみのゲームなので、子どもが大人にやり方を教えている光景も見られました。

今後も、未来を担う子どもたちの居場所を研究し、サポートしていきたいと思えます。

（リーダー・関清孝 文責・笠井雅世）



すくすくスクールでの活動



すくすくスクールフェスタに参加



なごみの家でマンカラを楽しむ

子どもたちの安全で
安心な居場所

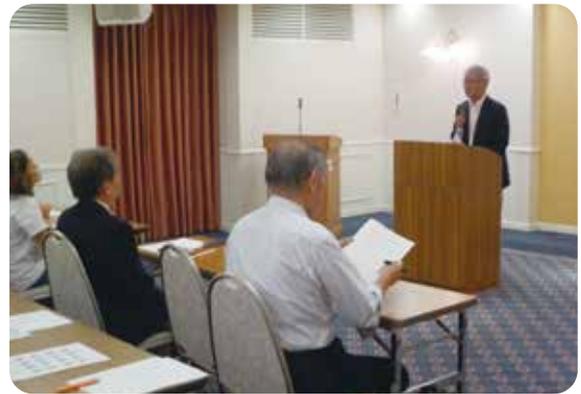
9月定例会

発達障害について

定例会研修として、令和元年9月20日(金)、グリーンパレスで「発達障害について」をテーマに講演会を行いました。講師には、元小松川第二中学校校長で、現在は駒澤大学非常勤講師の志村文穂氏においていただきました。

資料をもとに、発達障害にはどのような分類があるか、それぞれの特徴や行動パターン、その対処法などのお話が

ありました。発達障害について少しでも理解を深められたらという思いで聞きました。が、とても深いテーマで、青少年委員としてどう関わればよいかを考えさせられました。発達障害は、一般的にはまだまだ理解されないことも多いかもしれませんが、今回、研修としてほんの一片でも学んだことを、何かの役に立てることができたらと思います。(文責・葛西北地区・森口安子)



あてがき

今号は大雨や台風で予定されていたイベントが中止となり、急遽、別のテーマで寄稿をお願いするなど色々な方にご迷惑をおかけしました。おかげさまで、なんとか発行までこぎつけました。ご協力いただいた皆様に感謝します。

広報部一同



10月定例会

パラスポーツ体験会

令和元年10月18日(金)、第三松江小学校の体育館で、10月の定例会研修を行いました。今回のテーマは「パラスポーツ体験」。スポーツ振興課障害者スポーツ係職員の指導のもと、ブラインドサッカー、ゴールボール、車いすバスケットボールを体験しました。ブラインドサッカーとゴールボールは、目隠しをして音を頼りにゲームを進めますが、目隠し

をするだけで普通に歩くことすらままなりません。ボールやゴールの位置を判断するだけでも大変な思いをしました。車いすバスケットボールは、車いすで自由に動く練習から始め、その後3対3のゲームを行いました。車いすを操りながらドリブルやシュートをするのは、運動が苦手な身にはとても難しかったです。これから東京2020オリンピック・パラリンピックを迎えるにあたり、さらにパラス



スポーツに興味を持てる良い機会になりました。(文責・葛西北地区・森口安子)

青少年委員だより

発行 江戸川区青少年委員会
編集 広報部
連絡 江戸川区文化共育部
健全育成課青少年係

☎ (五六六) 一六二九